

難民についての教材活用セミナー

目的

現場の教職員や教職を志す学生の方々を対象に、総合的な学習の時間や人権教育、キャリア教育における活用、グローバル人材の育成やアクティブラーニングへの貢献を目的として、難民問題やUNHCRについての基礎知識に加え、当協会が開発した『いのちの持ち物けんさ』と『あるものないものワークショップ』の実践方法の伝達を行います。

また、ワークショップ実施をサポートしている学生団体SOARと教育現場との連携を強化するとともに、相互に実践とディスカッションを重ね、今後のさらなる教材の進化を目指します。

内容

〔12:30-16:40(大阪) 13:00-17:10(東京・横浜) 各会場開始30分前開場〕

- ・難民問題とUNHCRの基礎知識 / 教材の紹介と応用編
- ・『いのちの持ち物けんさ』の実践と『あるものないものワークショップ』の解説
- ・ディスカッション

※当日、教材資料を配布いたします。

- ・『いのちの持ち物けんさ』実践例 <http://www.japanforunhcr.org/archives/1567/>
- ・『あるものないものワークショップ』実践例 <http://www.japanforunhcr.org/archives/5603/>

お申し込み方法

参加費無料 / 先着順の事前申込制(定員(各回30名)になり次第締切)

国連UNHCR協会ホームページに設ける「難民についての教材活用セミナー2018春」専用サイト
<http://www.japanforunhcr.org/archives/12630/> で詳細をご確認いただき、お申し込みください。

場所・日程

大阪 3/28(水) 後援：JICA関西

難波市民学習センター第4研修室(大阪市浪速区湊町1丁目4番1号 OCATビル4階)

東京 3/29(木) 協力：聖心女子大学グローバル共生研究所

聖心女子大学4号館/聖心グローバルプラザ2階4-2教室(渋谷区広尾4-2-24)

横浜 3/30(金) 協力：神奈川県立地球市民かながわプラザ

神奈川県立地球市民かながわプラザ(あーすぶらざ)大会議室(横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1)

お問い合わせ先

国連UNHCR協会 法人・学校担当 school@japanforunhcr.org (天沼)

〒107-0062 東京都港区南青山6-10-11 ウェスレーセンター3階

TEL: 03-4366-7373 FAX: 03-3499-2273 www.japanforunhcr.org

『いのちの持ち物けんさ』とは

＜喪失の疑似体験＞を通じて生まれる＜自分への気づき＞を元にして、難民の人たちの心の痛みに寄り添うために「自分にできることは何か」を考えるきっかけをつくること、難民について知ってもらうことを目的としたワークショップ。

付箋とワークシートを使用したグループワークで、中高生以上向け。

『あるものないものワークショップ』とは

『あるものないものワークショップ』とは難民の人々の現状に関する写真から

【難民にないもの】

【難民にはあって私たちにないもの】

【難民にも私たちにもあるもの】

について考え、自分たちや日本の社会が、現在そして未来においてできることを導き出していくワークショップ。

小学校高学年から中学生向け。



「難民についての教材活用セミナー」実施の様子(2017年夏)



難民を守る。難民を支える。
国連UNHCR協会

■特定非営利活動法人国連UNHCR協会とは

UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)は1950年に設立された国連の難民支援機関です。紛争や迫害により故郷を追われた難民・避難民を国際的に保護・支援し、難民問題の解決に対して働きかけています。1954年と1981年にノーベル平和賞を受賞。スイス・ジュネーブに本部を置き、約130カ国で援助活動を行っています。この国連の難民援助活動を支えるため、広報・募金活動を行う日本国内における公式支援窓口が、国連UNHCR協会です。

■学生団体SOAR (Students' Organization Assembled for Refugees) とは

国連UNHCR協会のインターンシップを経験した学生を中心に設立された学生団体です。教育機関や団体に対し、難民問題に関する出張授業を実施しています。